

VII-35 吉野川上板河川敷き等における教育関係者等と連携した学習交流ワークショップ

徳島大学大学院・正会員 ○上月康則、徳島大学・正会員 山中英生
日本建設コンサルタント・正会員 澤田俊明、環境とまちづくり・正会員 花岡史恵
国土交通省四国地方整備局 三戸雅文

1. はじめに

平成 14 年度からの「総合的な学習」の時間の導入に伴い、学校教育と身近な地域社会や環境との関わりが一層重要となり、教育分野と教育分野を取り巻く種々の専門分野の連携が不可欠になってきた。本報告では、吉野川をフィールドにした「川に学ぶ社会」実現にむけての情報及び人的交流の場として企画開催された、教育関係者・河川関係者等の連携による一連の学習交流ワークショップについて報告する。

2. 活動概要

学習交流ワークショップの企画にあたり、大学関係者・河川管理者・教育関係者・専門家等から構成される 10 名規模の「環境と川と教育を考える研究会」（以下、研究会と略記）が組織された。研究会では、学習交流ワークショップの開催目的として、①今後の吉野川流域での教育分野と河川分野の新たな関係づくりの基礎となること、②吉野川を題材にした総合的な学習の計画・実施・人材育成等に資すること、③吉野川における総合的な学習の場に供する河川整備や管理等の計画・実施・人材育成等に資すること、が位置づけられた。表 1 に、「環境と川と教育を考える研究会」による吉野川をフィールドにした活動経過を示す。

表 1 学習交流ワークショップの活動の経過

年月日	活動名	活動概要	参加者等
H.12 10.13 (金)	「環境と川と教育を考える研究会」準備会	【テーマ】吉野川上板河川敷きの「利用・整備」について教育関係者との連携について検討	大学関係者 2 名、河川関係者 1 名、その他 1 名、計 4 名
H.12 10.23 (月)	「環境と川と教育を考える研究会」発足会	【テーマ】吉野川上板河川敷きの「利用・整備」について教育関係者との連携について検討／①準備会での検討事項を徳島県教委を交えて検討 ②「研究会」の発足について検討	教育関係者 1 名、大学関係者 2 名、河川関係者 2 名、その他 1 名、計 6 名
H.12 12.21 (木)	【名称】第 1 回研究会 【場所】上板町教育委員会	【テーマ】河川の教育的利用の可能性と課題、【検討フィールド】上板町内の身近な川・吉野川・上板河川敷、【内容】ワークショップ方式により議論	教育関係者 12 名、大学関係者 5 名、河川関係者 3 名、その他 2 名、計 22 名
H.13 2.2 (金)	【名称】第 2 回研究会 【場所】上板町教育委員会	【テーマ】川を教材にした総合的な学習の計画案づくり（その 1）、【検討フィールド】上板町内の身近な川・吉野川・上板河川敷、【内容】「気づき」「調査」「発表」「話し合い」「提案」「行動」のうち、「気づき」「調査」に関する計画案づくりのアイデア抽出	教育関係者 11 名、大学関係者 6 名、河川関係者 5 名、その他 2 名、計 24 名
H.13 2.27 (火)	【名称】第 3 回研究会 【場所】上板町教育委員会	【テーマ】：川を教材にした総合的な学習の計画案づくり（その 2）、【検討フィールド】上板町内の身近な川・吉野川・上板河川敷、【内容】	教育関係者 10 名、大学関係者 2 名、河川関係者 5 名、その他 3 名、計 20 名
H.13 8.16 (火)	【名称】第 4 回研究会	【テーマ】上板河川敷の整備イメージについて、【検討フィールド】上板町内の身近な川・吉野川・上板河川敷、【内容】現地視察を行い、河川敷の空間整備のあり方・必要な施設・整備における参加の可能性等についての意見交換を行った	教育関係者 11 名、大学関係者 5 名、河川関係者 6 名、その他 3 名、計 25 名
H.14 3.16 (土)	【名称】水環境学会発表会 【場所】岡山大学	【テーマ】吉野川における学習交流会の取り組みについて、【内容】これまでの第 1 回～第 4 回研究会の活動、および今後の活動について、A-3 版 16 枚のパネル展示	
H.14 1.10～1.31	【名称】徳島県下小中学校アンケート調査	【対象】徳島県全県下の小中学校 328 校対象、257 校の回答（回答率 78%）、【アンケート項目】河川を利用した総合的な学習について設問	257 校の回答
H.14 1 月～2 月	【名称】小中学校ヒアリング調査	【対象】アンケート調査より、河川を利用した総合的な学習が実施されている主な小中学校のうちの小学校 9 校、中学校 3 校の計 12 校をヒアリング	12 校実施
H.14 3.23 (土)	【名称】吉野川学習交流会（1 日目）	【テーマ】河川と総合的な学習、【主要プログラム】小中学校アンケート結果報告、総合的な学習の事例報告、話題提供「川をフィールドにした総合的な学習の視点と課題」、ワークショップによる意見交換、情報交換会	教育関係者 12 名、大学関係者 5 名、河川関係者 5 名、その他 17 名、計 39 名
H.14 3.24 (土)	【名称】吉野川学習交流会（2 日目）	【テーマ】河川学習におけるリスクマネジメント、【主要プログラム】話題提供「河川学習におけるリスクマネジメント」「判例から見る安全対策」、ワークショップによる検討	教育関係者 2 名、大学関係者 5 名、河川関係者 6 名、その他 12 名、計 25 名

3. 第1回～第4回研究会

平成12年2月から平成13年8月に開催された4回の研究会は、身近な川・吉野川・吉野川上板河川敷を検討フィールドとして開催された。検討の概要を表2に、検討結果の抜粋を表3に示す。

表2 研究会での検討内容

研究会	主要検討内容	備考
第1回研究会 H.12 12.21(木)	・河川の教育的利用の可能性と課題	「身近な川グループ」「吉野川グループ」「上板河川敷グループ」の3つのグループに分かれて検討
第2回研究会 H.13 2.2(金)	・河川をフィールドにした総合的な学習プランづくりにおける「気づき」「調査」について、のアイデア抽出	同上
第3回研究会 H.13 2.27(火)	・河川をフィールドにした総合的な学習のプランづくりのアイデア抽出	同上
第4回研究会 H.13 8.16(火)	→視察 ・徳島県上板町内の河川及び吉野川の上板河川敷の見学 →検討 ・河川敷きの空間整備のあり方 ・河川敷きに必要施設 ・河川整備における学校関係者の参加の可能性、・吉野川上板河川敷きの施設について ・吉野川上板河川敷きでの教育について	→検討： 「泉谷川グループ」「吉野川グループ」の2つのグループに分かれて検討

表3 第4回研究会の検討結果抜粋（吉野川グループ）

検討テーマ	参加者の意見
河川敷の空間整備のあり方	・安全な空間 ・草刈りの回数を変えて植生、昆虫の比較ができる ・何もしないところ（草刈り程度）と、菜の花畑など自然の生き物が寄ってこられるような場所 ・いつでも利用できる（だれでも無料） ・ピオトープ的な整備は難しいのではないかな ・広場、運動場的、ジョギングコース的な整備の方向はあるのではないかな ・教育的利用はしにくいように思われるので、地域の人たちが寝ころんだり、リラックスできるスペース（芝生、レンゲなど） ・子供たちが寝ころんで遊べる場所（たこあげ、広場） ・スポーツや生物調査等のできる広場（ブロック） ・なにもない大きな空間 ・できる限り自然のままが良い ・泉谷川のような工事が吉野川でも可能かな？
河川敷に必要な施設	・なし、公園は河川敷になくてもよい ・自然素材のアスレチック（河川敷には無理）、木、石など ・親水性のある公園（小さな池）、休息 ・河川敷きのできたためあの辺りを散歩される人が喜んでいるというのを聞いた、気軽な散歩を楽しめるようベンチや日陰となるもの ・吉野川へのアプローチの道の整備 ・簡素な水道～手洗B施設 ・利用面で適正な刈り取り高さ
整備における参加の可能性	・小さなことでも体験学習として参加できる可能性があるのではないかな→仕組みづくり ・エリア分けからメンテナンスまで、子供～大人まで ・見学、交渉、予算、条件（1月～2月の打ち合わせ） ・児童ができる範囲であれば参加可能（ゴミ拾い、草抜きなど）
上板河川敷の施設整備面での感想	・他の施設との複合（人工的、近代的） ・工事終了後そのままの形でおいて欲しい ・あまり手をいれない ・高水敷としての空間、高水敷きの「利用」→草刈り高土
上板河川敷の教育面での感想	・植物の育生（何もない所が自然でどのようになるか） ・河川敷きのエリアまで行って、学習するのであれば、実際に川の方まで行きたい ・人工的に作った物で、あまり学習するのは（中高学年など）意味がないように思う

4. 学習交流会

平成14年3月に2日間にわたり、表4に示すプログラムで「吉野川学習交流会」が開催された。当日の学習交流会では、【川をフィールドにした総合的な学習の視点と課題】・【河川学習におけるリスクマネジメント】をテーマにしたワークショップ方式等の交流会、徳島県下の小中学校を対象とした【総合的な学習空間としての河川に関するアンケート調査】による課題の共有、【全国の環境教育・野外教育の資料・取り組みなどの情報】・【総合的な学習に関する河川情報ホームページ紹介】などの情報交流会などが開催された。

表4 吉野川学習交流会のプログラム

1日目：平成14年3月23日（土）	2日目：平成14年3月24日（日）
◇学習交流会—1 河川と総合的な学習：13:00 開会／13:10 総合的な学習空間としての河川（徳島県下の小中学校アンケート結果報告）／13:30 川をフィールドにした総合的な学習の事例／15:00 学習交流会—1（川と教育）、・テーマ：川をフィールドにした総合的な学習の視点と課題、・話題提供及び学習交流会（ワークショップ方式）／17:30 閉会 ◇情報交流会 河川と教育の情報交流：19:00 情報交換会（総合的な学習に関する河川情報、他）	◇学習交流会—2 リスクマネジメント（無料） 09:30 楽しみながら体験教育ゲーム 10:15 学習交流会—2（リスクマネジメント） ・テーマ：河川学習におけるリスクマネジメント ・話題提供及び学習交流会（ワークショップ方式） 12:30 閉会

5. おわりに

本研究会では、平成14年度以降についても、今回報告した教育関係者・河川関係者等が連携した活動を、継続発展して実施していく予定としている。